

鈴鹿市考古博物館ソーシャルメディア運用方針

(目的)

ソーシャルメディアを活用し、市民等に対し、広く鈴鹿市考古博物館（以下「博物館」という。）のサービス情報やさまざまな活動、魅力等の情報発信を迅速かつ効率的に行い、博物館の利用促進や活性化へとつなげます。

(運用するソーシャルメディアの種類)

- 1 フェイスブック (Facebook)
- 2 ツイッター (Twitter)

(発信内容)

- 1 博物館の施設、休館日、各種事業、イベント、講座、展示、ホームページ更新のお知らせ等の情報
- 2 博物館の所蔵資料に関する情報
- 3 その他、博物館が発信を妥当と判断した情報

(運用方法)

1 運用時間

原則として開館時間内に不定期に掲載します。ただし、必要に応じて開館時間外にも掲載を行う場合があります。

2 フォローに対する機能への対応

博物館からは原則としてフォローしないものとします。ただし、公式アカウントの確認が取れる国または地方公共団体の運営するアカウントや、博物館とイベントなどを共催する団体及び個人のアカウントについてはフォローすることができます。

3 返信に類する機能への対応

博物館からは原則として返信しません。なお、いただいたコメント等の内容によっては、博物館の判断で返信を行う場合もありますが、全てのコメントに対して返信を保証するものではありません。

博物館にご意見、ご質問がある場合は、電話、FAX、Eメールでご連絡ください。

電話：059-374-1994

FAX：059-374-0986

メール：kokohakubutsukan@city.suzuka.lg.jp

4 リツイートに類する機能への対応

博物館からは原則としてリツイートしないものとします。ただし、公式アカウントの確認が取れる国または地方公共団体の運営するアカウントや、博物館とイベントなどを共催す

る団体及び個人のアカウントのツイートについてはリツイートすることができます。

(禁止事項)

博物館の運用するソーシャルメディアについて、下記事項に該当すると判断したアカウント及びコメント等は、予告なくアカウントのブロックまたはコメント等の全部又は一部の削除等を行うことがあります。

- 1 特定の個人，企業，団体，国，地域等を誹謗中傷するもの。
- 2 他者の人権を侵害する恐れのあるもの。
- 3 本人の承諾なく，個人情報特定・開示・漏洩する等，個人のプライバシーに関わるもの。
- 4 暴言，卑猥な表現及び公序良俗に反すると認められるもの。
- 5 著作権，商標権，肖像権等，本市または第三者の知的所有権を侵害するもの。
- 6 虚偽や事実と異なる内容及び単なる風評や風評を助長させるもの。
- 7 なりすましや存在しないメールアドレスを記載するもの。
- 8 法令等に違反する内容及び違反をそそのかす内容のもの。
- 9 広告，宣伝，勧誘，営業活動，その他営利を目的としたもの。
- 10 犯罪を助長，誘発する恐れがあるもの。
- 11 政治活動，宗教活動に関するもの。
- 12 有害なプログラムを使用若しくは提供するもの。また，その恐れのあるもの。
- 13 その他，博物館長が不適と判断したもの。

(知的財産権)

掲載する情報（文章，写真，イラスト等）に関する知的財産権（著作権，商標権，全ての権利）は博物館に帰属します。

私的使用のための複製や引用は著作権法上認められた場合を除き，無断で複製・転用することはできません。

(免責事項)

- 1 博物館が掲載する情報の正確さについては万全を期しておりますが，他のソーシャルメディアユーザー等（以下「ユーザー」という。）が鈴鹿市考古博物館公式アカウントの情報をを用いて行う一切の行為については，博物館は一切の責任を負いません。
- 2 鈴鹿市考古博物館公式アカウントの内容は，予告なく変更または削除する場合があります。
- 3 博物館は鈴鹿市考古博物館公式アカウントに関連して生じたユーザー間またはユーザーと第三者間でのトラブルや紛争，若しくはその被った被害についても，一切の責任を負いません。

4 コメント等の投稿にかかる著作権等は、当該投稿を行ったユーザーに帰属しますが、投稿されたことをもって、ユーザーは博物館に対し、投稿コンテンツを全世界において無償で非独占的に使用する権利を許諾したものとし、かつ、博物館に対して著作権を行使しないことに同意したものとします。

5 上記のほか、鈴鹿市考古博物館公式アカウントに関連して生じたいかなる損害についても、博物館は一切の責任を負いません。

(停止または削除)

博物館が情報を提供することが困難になった場合、その理由を鈴鹿市考古博物館ホームページに明記し、アカウントを速やかに停止または削除します。

(掲載の表記)

情報をより身近に感じてもらうために、専門用語を多用せず、口語等を使用します。

(運用方針の変更)

本運用方針は、必要に応じて予告なく変更する場合があります。

(適用)

この運用方針は、2019年9月1日から適用します。